

集会禁止・入場規制を打ち破り

原爆ドーム前埋めた反戦の声



8月6日平和公園での立ち入り規制＝集会禁止を打ち破り、私たちは原爆ドーム前の反戦反核集会を貫徹しました。広島市当局、警察権力は暴力的な排除、逮捕を狙っていましたが、座り込み参加者に指一本触れることもできませんでした。強制的に排除された人も、逮捕者もゼロ。不当にも機動隊の阻止線のために集会に合流できなかった人も目の前の歩道で集会に参加。8時15分に黙祷を行い、公園真正面から堂々とデモに出発しました。イスラエル代表、米代表、そして岸田首相の出席に抗議し、岸田首相演説を最も近い場所から徹底弾劾するコールを叩きつけました。一点の曇りもない大勝利です。

一切の弾圧を許さなかった力の根源は、被爆

者をはじめ、すべての広島市の労働者市民が79年間積み重ねて来た反戦反核の思いと運動の蓄積の力です。また、ガザ虐殺に怒り立ち上がる日本中世界中の巨大な反戦の声の力です。

どんな弾圧や脅しによっても、ヒロシマの声を黙らせることはできません！力を合わせれば本当に戦争をとめることができる！このことを全世界に示す大勝利だったと思います。

ガザ虐殺は繰り返され、日米による中国侵略戦争＝核戦争が迫っています。私たちはこれからも、全ての人々と力を合わせ核戦争阻止までたたかい抜きます。ともに戦争反対の声をあげましょう！

【裏面に8・6ヒロシマアピール' 24】

改憲・戦争阻止!大行進 埼玉 (埼玉反戦デモ実行委員会)

呼びかけ人 高木美佐子(長崎被爆者・すべての原発今すぐなくそう全国会議(NAZEN)埼玉代表)/
皆川学(元NHK労働者)堀江淳一/(元自治労埼玉県本部書記長)/鈴木喜平(国鉄高崎動力車連帯労働組合委員長)/
田畑典保(一般合同労組さいたまユニオン委員長/ 事務局 080-3738-0799(新井) FAX 048-554-2806
メールアドレス:saitamahansen@gmail.com X(旧ツイッター)アカウント:@saitamahansen QRコード→



2024年8・6ヒロシマアピール

広島への原爆投下から79年目の今日、原爆ドーム前に集まった皆さん。

今日この場所は、広島市によって公園が封鎖され、プラカード・横断幕・ゼッケンなど反戦反核を訴えるものが持ち込み禁止とされ、市民が原爆ドーム前で反戦反核のアピールをすることが禁止されるという異常な状況の中で8月6日を迎えています。

対岸の慰霊碑の前では、ガザで大虐殺を続けるイスラエルの代表が招待されて式典に出席しています。米国の代表と岸田首相が出席していますが、彼らはいよいよ10日前の7月28日、閣僚会合で「拡大抑止の強化」を打ち出し「アメリカの核兵器と日本の通常兵器を組み合わせる」中国との核戦争をやることを宣言しました。日米同盟を「核同盟」として位置付け、軍司令部機能の一体化を進めています。同じ28日から明日8月7日まで、中国を仮想敵国とした大軍事演習を岩国基地、九州・沖縄・琉球弧全域で繰り返しています。まさに核戦争前夜です。

ウクライナ戦争が延々と引き延ばされ、パレスチナへの大虐殺が繰り返されています。その上、中国との間で核戦争をやろうというのです。しかも他ならぬこの日本がその侵略戦争・核戦争の遂行者となろうとしています。

■「拡大抑止」で中国との核戦争を宣言

今日の平和公園の異常な規制がなぜ起きているのか。被爆地でG7の核を肯定する「広島ビジョン」などというものがなぜ出されたのか。

「はだしのゲン」が削除され、被爆地の市長が教育勅語で職員を研修するなどということがどうして起こるのか。そして昨年の8・6集会に参加した5人の仲間が、なぜ半年も経ってからでっち上げ逮捕され、いまだに拘束されているのか。そしてなぜ松井市長はイスラエル招待に固執したのか。その理由は完全にはっきりしました。岸田政権が、日米同盟のもとで中国との核戦争を決断したからです。そのためにはヒロシマを絶対に黙らせなければならないと決断したからです。

彼らは右翼勢力をけしかけ、反戦反核集会を妨害するだけでは不十分と、今回ついにむき出

しの国家暴力で参加者を逮捕し、集会を禁圧する暴挙に出してきました。

改憲や核武装を主張し「台湾有事を戦う覚悟が必要」などと叫ぶ岸田首相を筆頭とする勢力が、「8月6日は慰霊の日だ」「静かにしろ」と叫んで黙らせようとしています。日本と世界の人々が注目する8月6日の広島・平和公園で「戦争絶対反対！ 核戦争をとめよう！」という声上がり、日本中・世界中から同じ声上がることを何よりも恐れているのです。

■ヒロシマ・ナガサキを繰り返すな

原爆の死者を悼むことと戦争反対の声を上げることは本来対立することではありません。日本のアジア侵略戦争・太平洋戦争の帰結が原爆投下でした。「安らかに眠ってください、過ちは繰り返しませぬから」という碑文は、戦争反対の誓いです。被爆者とその遺族は「原爆の日」に祈りを捧げたその足で、反戦反核行動の先頭に立ち、核と戦争に対する怒りを誰よりも激しく叫んできたではありませんか。「過ち」を再び繰り返そうとしている者だけが、8月6日をただ祈ることしか許されぬ日として勝手に主張し、国家暴力をたのみに「黙れ」と脅しています。

しかし目の前で、自国政府がヒロシマ・ナガサキの惨劇を繰り返そうとしているのに、命令におとなしく従い、口をふさいで黙るならば、それこそ死者に対する裏切りです。

だから私たちは、この不当極まる集会禁止に抵抗するため、昨晚から夜通し原爆ドーム前に座り込みました。そして本日、原爆ドーム前での反戦反核集会を断固貫徹しました。

被爆者の皆さん、遺族の皆さん、広島市民の皆さん、そして日本と世界の全ての皆さん。今こそ核戦争をとめるため、自国政府の戦争に反対して立ち上がりましょう！

核戦争に突き進む岸田首相に、反戦反核デモで怒りの声を叩きつけましょう！

被爆79周年 核戦争阻止！ 8・6ヒロシマ大行動'24

原爆ドーム前集会にて